

# 令和4年度 長野県日本語交流員養成スキルアップ研修 実施要領

長野県県民文化部文化政策課  
多文化共生・パスポート室

## 1 目的

誰もが暮らしやすい地域を実現するため、地域の多文化共生を推進する日本語交流員としての資質・能力のスキルアップを図る。

## 2 主催

長野県

## 3 共催

伊那市

## 4 実施形式

第1回・第3回はオンライン（Zoomを予定）、第2回・第4回は対面

## 5 会場及び日時

会場	日程	時間	場所
伊那	12月4日（日）	午後1時30分から 午後4時30分まで （3時間）	オンライン（Zoomを予定）
	12月11日（日）		allla（アルラ）1階 多目的室 （伊那市荒井 3428 番地 7）
	グループ実践		
	2月12日（日）	午後1時30分から 午後4時30分まで （3時間）	オンライン（Zoomを予定）
	2月19日（日）		allla（アルラ）1階 多目的室 （伊那市荒井 3428 番地 7）

## 6 対象者

長野県日本語交流員養成初期研修の修了者のうち、スキルアップ研修の未受講者（178名）

## 7 定員

40名程度

## 8 参加申込期間

令和4年10月25日（火）午前9時から令和4年11月8日（火）午後5時まで

## 7 申込方法

電子申請による

[https://s-kantan.jp/pref-nagano-u/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=26939](https://s-kantan.jp/pref-nagano-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=26939)



## 8 受講料

無料（会場までの交通費・駐車場代は自己負担）

## 9 その他

- (1) 全4回の研修のうち、第2回（12/11）及び第3回（2/12）を含む3回以上の研修に出席し、かつグループ実践に取り組んだ者に、修了証を授与する。
- (2) 受講可否について、令和4年11月22日（火）午後5時までに申込者へ通知する。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、事業の内容及び定員数を変更することがある。

<p>1 共 通</p>	<p>(1) 日本語を正確に理解して的確に運用できる能力を持っていること。                  (2) 多様な言語・文化・社会的背景を持つ学習者と接する上で、文化的多様性を理解し尊重する態度を持っていること。                  (3) コミュニケーションを通じてコミュニケーションに学ぶという日本語教育の特性を理解していること。                  ※指導者と学習者が固定的な関係でなく、相互に学び、教え合う実際的なコミュニケーション活動</p>
<p>2 知 識</p>	<p>(1) 日本語や日本文化、社会、多文化共生に対する一般的な知識・理解を持っている。                  (2) 日本語教育に携わる機関・団体及び関係者による支援体制と自らに期待される役割について理解している。                  (3) 学習者の来日の経緯、国や言語・文化背景、日本語の学習目的に対する一定の知識を持っている。                  (4) 異文化理解や異文化間コミュニケーション、コミュニケーション能力に関する基礎的な知識を持っている。                  (5) 日本語の構造や日本語学習支援に関する基本的な知識を持っている。                  (6) 地域の文化やその地域での生活に必要な知識を持っている。                  (7) 長野県内活動地域の在住外国人の特性を理解している。                  (8) 相手の文化や日本文化の双方を理解し、多文化共生の知識を持っている。</p>
<p>3 技 能</p>	<p>(1) 分かりやすく伝えるために、学習者に合わせて自身の日本語を調整することができる。                  (2) 学習者の発話を促すために、耳を傾けると共に自身の発話を調整することができる。                  (3) 日本語教育コーディネーターや日本語教師とともに、日本語学習を支援することができる。                  (4) 学習者の状況を観察し、日本語教師や日本語教育コーディネーターの助言を得ながら、学習方法や学習内容を学習者に合わせて工夫することができる。                  (5) 日本語を教えるのではなく、コーディネーターや日本語教師と共に、学習者と積極的にコミュニケーションをとることができる。話し相手になることができる。                  (6) 地域によって文化と歴史、住民が違うということを理解し、伝えることができる。                  (7) やさしい日本語を使って外国人と地域住民とをつなぐ（両者に伝えられる）ことができる。</p>
<p>4 態 度</p>	<p>(1) 学習者の背景や現状を理解しようとする。                  (2) 学習者の言語や文化を尊重し、対等な立場で接しようとする。                  (3) 学習者や支援者などと良好な対人関係を築こうとする。                  (4) 学習者が自ら学ぶ力を育み、その学びに寄り添おうとする。                  (5) 異なる考えや価値観を持つ他者と協働できる柔軟性を持つようとする。                  (6) 日本語学習支援者としての立場を理解し、学習者と対等に双方に学ぼうとする。</p>
<p>5 そ の 他</p>	<p>(1) それぞれの地域に合った支援体制及び自身が活動する地域の地域特性を理解している。                  ※地域特性とは、活動する地域に在住する外国人の特性等</p>

## 日本語交流員養スキルアップ研修 担当講師

日 時		テーマ	講師 (敬称略)
1	12月4日(日)	(第1章) 日本語交流員の役割と多文化共生 ～初期研修の振り返りを通して改めて考えてみよう～  (第3章) コミュニケーション実習【パート1】 ～学習支援について、コミュニケーションを通して考えよう～	地域日本語教室創出支援事業 地域日本語教育コーディネーター 岡宮 美樹
2	12月11日(日) <b>※出席必須</b>	(第2章) 地域のリソースと外国人支援 ～地域のリソースを確認して外国人支援を考えよう～  (第3章) コミュニケーション実習【パート2】(実践課題の設定) ～学習支援について、コミュニケーションを通して考えよう～	地域日本語教室創出支援事業 地域日本語教育コーディネーター 大澤 志那子
<b>グループ実践</b> (共通の関心のある受講者でグループ作成 → 支援に関するプランニング → 実践 → レポート → 発表)			
3	2月12日(日) <b>※出席必須</b>	(第4章) 実践の振り返り ～振り返りを通して実践について改めて考えよう～	地域日本語教室創出支援事業 地域日本語教育コーディネーター 大澤 志那子
4	2月19日(日)	(第5章) 日本語交流員として ～長野県の多文化共生社会を思い描こう～	地域日本語教室創出支援事業 総括コーディネーター 佐藤 佳子

**※スキルアップ研修の主な内容となるため、第2回(実践課題の設定)、第3回(実践課題の発表)及びグループ実践は必須とします。**